

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立弥生小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

輝く笑顔 弥生っ子  
やさしく助け合う子  
よく学び よく考える子  
いきいき活動する子

今年度の指導の重点

【豊かな心】 自他共に大切に、円滑な人間関係を育成する集団作り 道徳的実践力の育成  
コミュニケーション能力の向上  
【確かな学力】 学ぶ楽しさや学習意欲を喚起する授業作り 体験的な学習、問題解決的な学習の充実  
基礎・基本の確実な定着 家庭学習の充実  
【健やかな体】 基本的な生活習慣・運動習慣の確立(体力向上) 食に関する指導の充実  
日常体育の充実と外遊びの奨励・充実 危険予知、回避能力の育成

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

全国

「国語A」は平均正答率が県平均を上回った。  
「国語A・B」ともに、「読む能力」の平均正答率が県平均より低い。  
「算数A・B」ともに、「数と計算」の平均正答率が県平均より低い。  
「理科」では、「観察・実験の技能」の平均正答率が県平均より低い。  
「記述式」の平均正答率が県平均よりも低い。

県

「国語・社会・数学」の平均正答率は県平均よりも高い。  
国語では、「書く能力」の平均正答率が県平均より低い。  
社会では、「国の政治」の平均正答率が県平均より低い。  
数学では、どの領域も平均正答率が県平均よりも高い。  
理科では、「科学的な思考・表現」の平均正答率が県平均よりも低い。

【学習状況調査の結果】

テレビの視聴時間  
・1日当たりのテレビ等視聴時間2時間以上は、県平均と同程度。  
家庭学習の時間  
・1日当たりの家庭学習1時間以上の割合が、県平均より高い。  
読書時間  
・1日当たりの読書時間30分以上の割合が、県平均より高い。  
あいさつ  
・近所の人にあったときのあいさつをしている児童の割合は、県平均より低い。  
きまり  
・学校のきまりを守っている児童の割合は、県平均より低い。

成果と課題

成果

「漢字の読み書き」の平均正答率は県平均より高い。  
「読書が好き」の割合が昨年度よりも高い。  
「学校へ行くのは楽しい」の割合が昨年度よりも高い。

課題

「数と計算」の平均正答率が昨年度よりも下回っている。  
・特に「小数(6.79-0.8)と分数(5/9-1/4)の四則計算」の平均正答率が低い。  
授業の「予習」「復習」をしている割合が低い。  
「学校のきまりを守っている」については、県平均より低い。

課題に対応した改善方法

北陵中ブロックの生活目標「時を守り、場をきれいにし、礼を尽くす」を徹底する。  
昨年度に引き続き、弥生小4つの取組「廊下は歩こう、職員室への入り方、放送は聞こう、挨拶・返事をしよう」を徹底する。  
朝学習や宿題等で「問題データベース問題」を活用して学びの定着を図る。

取組の検証方法及び検証時期

11月実施する第4・5学年実施の「学力定着状況テスト」の結果分析(2学期)  
学校生活についての全校児童アンケートの結果分析(11月実施)  
第5・6学年を中心に全国学力調査過去問題の実施(3学期末まで)

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

全国・県学力調査の全教科で県平均を上回る。  
家庭学習の時間<(学年×10+10)分>の実施率を80%にする。  
1日、30分以上読書をする児童の割合を80%以上にする。